



10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費			
事業名		外国人講師招へい事業費				単位：円		
事業内容	「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手1人の派遣を受け、市内全小中学校を対象に実施する。			計 画 値	派遣学校数	14校	派遣回数	200回
	児童生徒が外国語指導助手の生きた英語に触れることで、コミュニケーション能力の素地を養い、「聞くこと」「話すこと」の英語力の向上を図り、英語を用いて豊かな自己表現をしようとする力が育まれている。				実 績 値	派遣学校数	14校	派遣回数
成果						内訳：小学校	84回	中学校
予算額	決算額	財源内訳		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,184,000	4,272,480	0	0	0	4,272,480			

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		特色ある学校づくり事業費				単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。 児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計 画 値	実施学校数	14校	
	平成27年度も市内全ての小中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開しており、平成27年度は郷土芸能の伝承活動や食育に取り組む学校が多かった。 講師を務める地域住民を通して、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで児童生徒のふるさとへの愛着と誇りをもつ心が着実に育まれるとともに、地域に開かれた学校づくりの一助となっている。				実 績 値	実施学校数	14校
成果							
予算額	決算額	財源内訳		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,398,000	1,272,801	0	0	0	1,272,801		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名						平成・南部藩寺子屋交流事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 根城南部氏の縁でつながる八戸市とそれぞれの市を相互訪問し、交流活動を行う。 日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。			計画値	参加児童 26人		
	成果	市内小学校11校を代表する児童が一同に集まり、八戸市児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学んだ。 大きな集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしての在り方を学ぶことができた。 他者の視点からふるさとの良さを聞くことで、自らをふりかえることができ、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。			実績値	参加児童 26人	
		1 受入交流 7月27日から7月29日まで八戸市児童45人が来遠					
		2 派遣交流 8月3日から8月4日まで遠野市児童26人が八戸市を訪問					
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳				
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
879,000		770,300	0	0	0	770,300	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名						特別支援教育推進事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。 要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。			計画値	特別支援教育支援員の配置 16人 学習指導講師の配置 1人		
	成果	1 特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。 【配置校数 小学校11校、中学校2校】 小学校のうち2校は2人配置			実績値	特別支援教育支援員の配置 15人 学習指導講師の配置 1人	
		2 学習指導講師が巡回指導を行うことで、児童のニーズに応じた適切な指導を提供することができ、児童4人がことばの教室を退級することができた。 【巡回指導実施数 5校、11人】					
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳				
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
17,099,000		16,184,441	0	0	0	16,184,441	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費			
事業名		遠野わらすっこ「夢の教室」事業費				単位：円		
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、そのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。</p>			計画値	実施校数	8校	実施回数	7回
	成果	<p>各小学校では「夢の教室」をキャリア教育の一環として、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう位置付けて取り組んだ。 児童たちは、夢先生の話に素直に感動し、夢について語り合い、真剣に考える姿があった。</p> <p>【実施状況】 附馬牛小学校、達曽部小学校、小友小学校と鱒沢小学校（合同開催） 土淵小学校、綾織小学校（5・6年生） 青笹小学校、上郷小学校（5年生）</p>			実施校数	8校	実施回数	7回
予算額	決算額	財源内訳						
		国県支出金	地方債	その他	一般財源			
1,558,000	1,254,410	0	0	1,000,000	254,410			

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費			
事業名		いじめ防止等総合対策事業費				単位：円		
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 遠野市いじめ防止等基本方針にあわせて、各種の取り組みを行う。 遠野市生徒指導推進協議会の専門委員会として設置される「遠野市いじめ防止等対策委員会」を開催し、いじめ防止対策について協議する。 また、市内小中学生向けのいじめ防止リーフレットを作成し、いじめの無い学校づくりを推進する。</p>			計画値	委員会の開催	1回	リーフレットの作成	2000部
	成果	<p>平成28年2月に第1回の「遠野市いじめ防止等対策委員会」を開催し、組織体制の確認と、今後のいじめ防止に関する協議を行った。 遠野西中学校が「全国いじめ問題子どもサミット」で発表した取り組みについての情報共有を行い、市内他校に広げていく方針が確認された。 児童生徒及び保護者を対象とした、いじめ防止啓発リーフレット（小学生用・中学生用）を作成した。</p>			委員会の開催	1回	リーフレットの作成	2000部
予算額	決算額	財源内訳						
		国県支出金	地方債	その他	一般財源			
142,000	85,860	0	0	0	85,860			

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費	
事業名					学力向上対策事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。</p> <p>市内小中学生（小2～中3）を対象にして、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施する。その結果をもとに各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元する。</p> <p>教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、その成果を市内小中学校へ還元する。</p>			計画値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>教育相談員の配置 4人</p> <p>教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>	
	成果	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」に取り組んだ。</p> <p>市内3校において学校公開研究会を開催したほか、1月には研究成果を中学校ごとに発表し合い、研究授業の成果を皆で共有することにより、教員の意識改革が図られ、徐々に授業の質向上につながっている。</p> <p>遠野市教育研究所創立10周年記念事業として、講演会の開催及び記念誌の発行を行い、10年の取り組みについて広く情報発信を行った。</p> <p>遠野市教育研究所内及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めたほか、適応指導教室を設置し、様々な要因により登校が困難な生徒に対して、学校への復帰に向けた支援を行った。</p>			実績値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>教育相談員の配置 4人</p> <p>教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
12,678,000	11,266,432	0	0	0	11,266,432	

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費	
事業名					育英事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例第88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難なものに対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p> <p>【貸与額】 高校生 15,000円以内/月 大学生等 40,000円以内/月</p>			計画値	<p>新規奨学生採用数</p> <p>大学生等 30人</p> <p>高校生 5人</p> <p>継続奨学生数</p> <p>大学生等 65人</p>	
	成果	<p>新規奨学生の募集を行い、新たに35人（大学生等30人、高校生5人）の奨学生を決定し、継続奨学生60人と合わせて95人に奨学金を貸与した。（平成28年3月に貸与期間を満了した者は31人）</p> <p>なお、経済的回復等の自己都合により、年度当初に5人の奨学生から貸与辞退の申出があった。</p> <p>【貸付状況】 新規奨学生 15,300,000円 継続奨学生 28,800,000円 計 44,100,000円</p>			実績値	<p>新規奨学生決定数 35人 （大学生等 30人） （高校生 5人）</p> <p>継続奨学生数 60人 （大学生等 60人）</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
44,219,000	44,186,168	0	0	38,289,284	5,896,884	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遠野北小学校、小友小学校、附馬牛小学校、土淵小学校、宮守小学校、達曾部小学校及び鱒沢小学校に遠距離から通学する児童を対象に、スクールバス及びスクールワゴンを運行するとともに、遠距離から通学する青笹小学校瀬内地区の一部及び上郷小学校来内地区の児童を対象に タクシーを運行する。</li> <li>遠距離（4 km以上）から小学校に通学する児童を対象に、通学費の助成を行う。</li> <li>教育課程における児童の移動手段としてスクールバスの特別運行を行う。</li> </ul>			計 画 値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託） 遠距離通学費補助金 支給見込児童数 25人</p>	
	成果	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、スクールバス等を運行し、通学に係る負担の軽減及び通学時の安全を図るとともに、当該児童のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない児童に対しては遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>また、スクールバスの特別運行として、学校運営上必要な行事や市が主催する各種事業等における児童の送迎を行い、スクールバスの有効活用を図った。</p>			実 績 値	<p>スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託） 遠距離通学費補助金 支給児童数 22人 スクールバス特別運行 許可件数 217件</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
24,575,000	22,360,933	0	0	0	22,360,933	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、国の補助事業を活用し、理科教育における観察や実験に必要な教材備品を整備する。</p>			計 画 値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科教材備品整備 4校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入、言語活動や読書活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げ等、教育環境の整備充実を図った。</p> <p>また、理科教材備品を整備し、観察や実験を通じた理科教育の充実を図った。</p> <p>【主な理科教材備品の整備内容】 附馬牛小学校：生物顕微鏡、磁化用コイル 等 土淵小学校：実験用冷蔵庫、百葉箱 等 青笹小学校：書画カメラ、百葉箱 等 上郷小学校：書画カメラ、生物顕微鏡 等</p>			実 績 値	<p>教材備品購入数 70品目 図書購入数 1,507冊 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科教材備品整備 4校 購入数 19品目</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
14,076,000	14,016,795	500,000	0	0	13,516,795	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費																									
事業名		就学援助費				単位：円																								
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、クラブ活動費、児童会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計 画 値	支給見込児童数 155人																									
	<p>就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災児童12人分の就学援助費（822,666円）については、県補助金(10/10)の対象として、県から市に交付された。</p> <p>【項目及び支給内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（146人）</td> <td>1,580,716円</td> <td>通学用品費（133人）</td> <td>275,962円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（146人）</td> <td>280,900円</td> <td>新入学用品費（13人）</td> <td>266,110円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（37人）</td> <td>890,220円</td> <td>通学費（1人）</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費（3人）</td> <td>2,310円</td> <td>児童会費（1人）</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>PTA会費（99人）</td> <td>317,960円</td> <td>学校病医療費（39人）</td> <td>324,070円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療通院費（19人）</td> <td>10,480円</td> <td>学校給食費（146人）</td> <td>5,919,381円</td> </tr> </table>				学用品費（146人）	1,580,716円	通学用品費（133人）	275,962円	校外活動費（146人）	280,900円	新入学用品費（13人）	266,110円	修学旅行費（37人）	890,220円	通学費（1人）	8,000円	クラブ活動費（3人）	2,310円	児童会費（1人）	100円	PTA会費（99人）	317,960円	学校病医療費（39人）	324,070円	学校病医療通院費（19人）	10,480円	学校給食費（146人）	5,919,381円	実 績 値	支給児童数 149人
学用品費（146人）	1,580,716円	通学用品費（133人）	275,962円																											
校外活動費（146人）	280,900円	新入学用品費（13人）	266,110円																											
修学旅行費（37人）	890,220円	通学費（1人）	8,000円																											
クラブ活動費（3人）	2,310円	児童会費（1人）	100円																											
PTA会費（99人）	317,960円	学校病医療費（39人）	324,070円																											
学校病医療通院費（19人）	10,480円	学校給食費（146人）	5,919,381円																											
予算額	決算額	財源内訳																												
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
10,395,000	9,876,209	833,666	0	0	9,042,543																									

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費										
事業名		学力向上学校教材等充実事業費（繰越明許費）				単位：円									
事業内容	<p>平成27年度における小学校教科書の改訂に伴い、小学校教師用教科書（下巻）及び指導書（下巻）を購入し、学校教材の充実を図ることにより、学力の向上に資する。</p> <p>上巻については、新学期から使用することができるよう平成26年度に購入し小学校に整備済であるが、下巻については平成27年度の夏期に発行されることから、事業を平成27年度に繰り越して実施する。</p>			計 画 値	整備見込数 教師用教科書 300冊 教師用指導書 300冊										
	<p>平成27年度における小学校教科書の改訂に合わせ、教師用教科書、指導書及び指導資料を整備し、学校教材の充実を図った。</p> <p>【内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>教師用教科書</td> <td>445冊</td> <td>156,465円</td> </tr> <tr> <td>教師用指導書</td> <td>432冊</td> <td>4,204,565円</td> </tr> <tr> <td>指導資料</td> <td>159点</td> <td>1,521,878円</td> </tr> </table>				教師用教科書	445冊	156,465円	教師用指導書	432冊	4,204,565円	指導資料	159点	1,521,878円	実 績 値	教師用教科書 445冊 教師用指導書 432冊 指導資料 159点
教師用教科書	445冊	156,465円													
教師用指導書	432冊	4,204,565円													
指導資料	159点	1,521,878円													
予算額	決算額	財源内訳													
		国県支出金	地方債	その他	一般財源										
6,017,000	5,882,908	0	0	0	5,882,908										

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名 附馬牛小学校整備事業費					単位：円	
事業内容	平成26年度に旧附馬牛中学校校舎を附馬牛小学校校舎に転用するための整備を実施したことに伴い、校庭に遊具を整備し、教育環境のさらなる充実を図る。			計画値	遊具購入	
	成果	ジャングルジムなど6基の遊具を整備した。 外で体を動かすことにより、児童の健康な体づくりや運動能力の向上を図ることができた。また、子ども同士のコミュニケーションツールとしても期待される。			実績値	
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,302,000	3,301,560	0	0	0	3,301,560	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名 通学対策費					単位：円	
事業内容	遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 ・遠野中学校、遠野東中学校及び遠野西中学校に遠距離から通学する生徒を対象に、スクールバス及びスクールワゴンを運行する。 ・遠距離（6km以上）から徒歩で中学校に通学する生徒を対象に、通学費の助成を行う。 ・教育課程における生徒の移動手段としてスクールバスの特別運行を行う。			計画値	スクールバス等の運行18台 （中学校3校 各6台） 遠距離通学費補助金 支給見込生徒数 10人	
	成果	遠距離から中学校に通学する生徒のため、スクールバス等を運行し、通学に係る負担の軽減及び通学時の安全を図るとともに、当該生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対しては遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 また、スクールバスの特別運行として、学校運営上必要な各種行事やクラブ活動等における生徒の送迎を行い、スクールバスの有効活用を図った。			実績値	
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
49,384,000	47,645,273	0	0	0	47,645,273	



10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、並びにパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。 また、国の補助事業を活用し、理科教育における観察や実験に必要な教材備品を整備する。</p>			計 画 値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科教材整備 3校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入や、言語活動や読書活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータ等の借上げ等、教育環境の整備充実を図った。 また、理科教材備品を整備し、観察や実験を通じた理科教育の充実を図った。</p> <p>【主な理科教材備品の整備内容】 遠野中学校：検流計、薬品庫 等 遠野東中学校：教材提示装置、水平斜面実験台 等 遠野西中学校：書画カメラ、デジタル気体チェッカー 等</p>			実 績 値	<p>教材備品購入数 27品目 図書購入数 673冊 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科教材整備 3校 購入数 16品目</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
9,564,000	9,277,862	500,000	0	0	8,777,862	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費																					
事業名					就学援助費	単位：円																				
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計 画 値	支給見込生徒数 97人																					
	成果	<p>就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災生徒4人分の就学援助費(544,178円)については、県補助金(10/10)の対象として、県から市に交付された。</p> <p>【項目及び支給内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(92人)</td> <td>2,001,360円</td> <td>通学用品費(59人)</td> <td>126,366円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(92人)</td> <td>310,717円</td> <td>新入学用品費(33人)</td> <td>777,150円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(27人)</td> <td>1,931,878円</td> <td>クラブ活動費(90人)</td> <td>2,020,640円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費(91人)</td> <td>197,000円</td> <td>PTA会費(79人)</td> <td>184,270円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費(9人)</td> <td>63,180円</td> <td>学校給食費(91人)</td> <td>4,448,868円</td> </tr> </table>			学用品費(92人)	2,001,360円	通学用品費(59人)	126,366円	校外活動費(92人)	310,717円	新入学用品費(33人)	777,150円	修学旅行費(27人)	1,931,878円	クラブ活動費(90人)	2,020,640円	生徒会費(91人)	197,000円	PTA会費(79人)	184,270円	学校病医療費(9人)	63,180円	学校給食費(91人)	4,448,868円	実 績 値	支給生徒数 95人
学用品費(92人)		2,001,360円	通学用品費(59人)	126,366円																						
校外活動費(92人)	310,717円	新入学用品費(33人)	777,150円																							
修学旅行費(27人)	1,931,878円	クラブ活動費(90人)	2,020,640円																							
生徒会費(91人)	197,000円	PTA会費(79人)	184,270円																							
学校病医療費(9人)	63,180円	学校給食費(91人)	4,448,868円																							
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳																								
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																					
12,437,000	12,061,429	553,178	0	0	11,508,251																					

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費			
事業名		プール改修事業費					単位：円	
事業内容	遠野西中学校のプール設備を改築し、生徒が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。			計画値	遠野西中学校 プール改築工事 工事監理業務委託			
	成果	平成27年11月の国庫補助金の追加決定を受け、工事及び監理業務の入札発注を行ったため、年度内の工事完了が困難であることから、平成28年度に事業費43,736,000円を繰り越した。 平成27年度内に既存プールの解体が完了し、平成28年4月から建築工事を進めており、2学期からの使用が予定されている。			実績値	既存プール解体		
予算額		決算額	財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
	81,150,000	37,414,000	0	35,500,000	0	1,914,000		

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費			
事業名		遠野中学校屋内運動場改築整備事業費					単位：円	
事業内容	遠野中学校の屋内運動場は、平成3年の建築後24年が経過していることから、平成26年度に実施した改修設計業務の内容に沿った施設の大規模改造工事を実施する。  【事業の概要】 工期 平成27年8月から平成28年3月まで 工事内容 屋根の塗装・雨漏り修理、内外壁の補修、照明のLED化、設備機器の更新等			計画値	屋内運動場大規模改造工事 工事監理業務委託			
	成果	大規模改造工事により、懸案事項であった天井の雨漏りが解消された。また、節電対策として照明設備をLED化したほか、トイレ等の衛生器具や火災報知設備の更新により、施設の長寿命化が図られた。 工事完了後は、社会教育団体等に対する一般開放事業を再開し、多数の団体が利用している。 【建築】 外壁：RC部塗装替、サイディング張替、鉄部塗装替等 屋根：カバー工法縦平葺き、既存横葺き部塗装替等 その他：内部床・壁・天井仕上げ改修、設備機器更新等 【機械設備】 照明器具及び情報表示設備並びに火災報知設備交換			実績値	屋内運動場大規模改造工事 工事監理業務委託 延べ床面積 1944,63㎡		
予算額		決算額	財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
	133,055,000	133,017,120	39,259,000	57,500,000	0	36,258,120		

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野西中学校整備事業費	単位：円
事業内容	遠野西中学校の教育環境の充実を図るため、平成24年度の給食受入室新築整備、平成26年度の旧宮守給食センターを活用した多目的ホール改修に続き両施設周辺の外構工事を行う。			計画値	外構工事	
	成果	多目的ホール及び給食受入室周辺のアスファルト舗装を行ったことにより給食搬入車の出入りがスムーズになったほか、多目的ホールからの物品等の搬入・搬出が容易に行えるようになった。			実績値	外構工事 アスファルト舗装 374m <sup>2</sup>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,500,000	3,459,240	0	0	0	3,459,240	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費				
事業名					生涯学習のまちづくり推進費	単位：円			
事業内容	1 地区センターを地域社会教育の拠点として、各種の講座を開催する。 2 生涯学習講座や芸術振興事業について業務を委託し、充実を図る。				各地区センター受講者 2,410人	業務委託の実施			
					計 画 値				
成果	1 各地区センターで手芸や料理等の手づくり講座など、地域のニーズ把握に努め、各種講座を開催した。 2 生涯学習講座、芸術振興事業に関し業務委託を実施し、民間活力を活かした事業の充実を行った。 (1) 生涯学習講座 IT講座、郷土理解講座、絵画教室等      62回開催      延べ 844人 青少年活動サポート事業 少年少女ふるさと発見探偵団              6 回開催      延べ 217人 囲碁・将棋教室                              8 回開催      延べ 153人 (2) 芸術振興事業 レジェンドコンサート(6月20日)              鑑賞者 317人 落語二人会                                      (8月9日)      鑑賞者 188人 TSUKEMEN LIVE                              (9月27日)      鑑賞者 236人 遠野市民センターバレエスタジオ 第38回発表会                                      参加者40人      鑑賞者 210人 遠野少年少女合唱隊 第26回発表会                                      参加者17人      鑑賞者 100人				各地区センター受講者 2,365人	業務委託の実施			
					実 績 値				
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳
						国	県	支	出
						金			
							地	方	債
								そ	の
								他	
									一
									般
									財
									源
53,774,000			49,811,071			0			0
								10,522,700	
									39,288,371

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					芸術文化振興事業費	単位：円
事業内容	1 市民センター自主事業の開催 2 芸術文化団体への支援を行い、活動発表等による芸術文化の高揚を図る。 3 市民協働による活動発表の場を提供する。				計画値	1 芸術文化協会加盟団体の自主事業数 14回 2 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,980人 3 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 9,000人
	成果	1 市民センター自主事業の開催 (1) レジェンドコンサート 6月20日 鑑賞者 317人 (2) 上方落語「米朝一門会」 8月9日 鑑賞者 188人 (3) TSUKEMENコンサート 9月27日 鑑賞者 236人 2 芸術文化団体へ支援 (1) 第10回遠野市民芸術祭(10月18日、24日、25日、31日、11月1日) 合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展 参加者575人、鑑賞者1,285人 (2) 芸術文化協会等主催事業 中ホール4回 参加者 70人、鑑賞者 585人 あえりあ遠野3回 参加者125人、観賞者 650人 みやもりホール6回 参加者220人、鑑賞者 900人 その他会場1回 参加者 15人、鑑賞者 60人 3 市民協働による活動発表の提供 第41回市民の舞台遠野物語ファンタジー「お月お星の涙」開催 2月19日、20日の3回公演 参加者309人、鑑賞者 800人				実績値
予算額		決算額	財源内訳			
2,207,000	2,207,000	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	0	2,207,000	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					都市交流推進事業費	単位：円
事業内容	東京都武蔵野市との児童交流を行い、それぞれの地域特性を生かした体験を通じひとづくり、まちづくりを進める。			計画値	武蔵野市児童交流 姉妹都市遠野訪問団交流 20人程度	
	成果	武蔵野市とは隔年で受入事業と派遣事業を相互に行っており、平成27年度は武蔵野市からの受入事業を実施した。事業を通じ、地域性の違いや相互の生活様式を理解し交流を深めた。 実施日：10月10日～12日（2泊3日）			実績値	武蔵野市児童交流受入 児童20人 引率3人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
437,000	378,205	0	0	0	378,205	

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	単位：円
事業内容	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置づける。「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献する。			計画値	語り部認定者数（累計） 750人	
	成果	平成27年度の認定者数82人（昔話2人、子ども語り部56人、歴史3人、郷土芸能19人、食1人、生業1人）で、累計者数は792人となった。 語り部スクーリングのほか、食の語り部研修会、初心者向けの昔話教室などを開催し、新たな語り部の発掘に努め、計画値を上回ることができた。 また、中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して、語り部を披露するなどしながら、中心市街地ののにぎわいの創出につなげることができた。			実績値	語り部認定者数（累計） 792人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,474,000	1,451,327	0	0	0	1,451,327	

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野文化調査研究費	単位：円
事業内容	<p>遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努める。 また、出版物の刊行やフォーラムなどを開催し、研究成果の公開や啓発を行う。</p>			計画	<p>遠野文化フォーラム参加者 140人 遠野文化研究センター活動の参画者 100人</p>	
	<p>遠野の文化を解明し、広く発信するため次の事業などを実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。</p> <p>1 遠野文化フォーラムの開催 開催日時：平成27年 8月22・23日（土・日） 開催場所：あえりあ遠野交流ホール、遠野みらい創りカレッジ 内容：遠野文化賞表彰、遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付、遠野遺産活用事例発表、講演・シンポジウム「鎮魂と芸能」 参加者：330人</p> <p>2 市民講座（所長講座・遠野学叢書講座などの土曜講座、「遠野古事記」を読む金曜夜の読書会、遠野学会など） 開催数：20回 総参加者：409人</p> <p>3 出版事業 遠野学叢書：（『遠野風土草 天の巻』300部、『遠野郷 野の草木』300部、『遠野古事記』300部） 遠野文化フォーラム報告書：100部</p> <p>4 その他 国立青少年教育振興機構、NPO法人日本子守唄協会との「絵本と子守唄のつどい」「伝えよう故郷の唄とお話」、全国女性史研究交流のつどい実行委員会との「全国女性史研究交流のつどいINいわて」を共催したほか、遠野みらい創りカレッジとの連携事業を実施した。</p>				実績	<p>遠野文化フォーラム参加者 330人 遠野文化研究センター活動の参画者 409人</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
16,102,000	14,979,481	0	0	3,914,975	11,064,506	

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費
事業名 「遠野市史」編さん事業費					単位：円
事業内容	『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市村合併を含め、市政の大きな変換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々のくらしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。 「永遠の日本のふるさと遠野」として、後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため市史の編さんを行う。 平成27年度 市史編さん委員会の設置、編さん方針の決定、資料調査 平成31年度 現代編刊行 平成38年度 通史編刊行 平成39年度 民俗編刊行、遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催 平成28～39年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。 遠野南部家資料ほか収集資料を収めた「資料編」は随時刊行する予定。			市史編さん委員会開催 資料収集、調査実施 刊行のための実務作業実施 教育普及・広報活動実施	
	市史編さん委員会を設置し、基本方針や事業計画等を審議した。 また、市民及び地域史研究者等の持つ多様な知識、経験を生かし、市史編さんを市民協働で進めるため、調査研究員を依頼し、資料収集や古文書解読作業を実施した。 人材育成として、市史編さん講座や古文書講座など、遠野の歴史や文化に触れる学習機会を提供し、参加者アンケート結果は高評価であった。  1 遠野市史編さん委員会 第1回 6月27日、第2回 11月1日 2 調査研究員活動 (1) 現代編担当 会議及び資料収集 6回 (2) 古文書担当 解読会 10回 3 資料調査 (1) 遠野南部家資料調査 2回 (2) 博物館資料等の依頼調査 2回 (3) 行政文書資料調査 5回 4 人材育成講座 (1) 市史編さん講座「江戸時代の遠野と南部馬」 開催日：11月28日、参加者：50人 (2) 古文書講座「はじめての古文書」(夜の部) 開催日：11月19日、26日、12月3日、参加者：のべ75人 (3) 古文書講座「はじめての古文書」(午前の部) 開催日：1月16日、23日、30日、参加者：のべ81人			市史編さん委員会開催 資料収集、調査実施 刊行のための実務作業実施 教育普及・広報活動実施	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2,083,000	1,953,580	0	0	0	1,953,580



10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費				
事業名					図書館費	単位：円			
事業内容	読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を推進する。			計 画 値	図書館の利用者数	19,900人			
					市民への図書貸出冊数	81,600冊			
成果	図書の貸出や図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子どもたちの本に親しむ機会を増やし、読書環境を整備した。 児童を対象にした図書館教室、総合学習のための資料の貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用普及を図ることができた。 また、職場体験学習を中高生対象に実施したほか、社会体験研修を受け入れるなど、図書館への関心を高めた。 移動図書館車を巡回し利用者の利便性を図った。 本の読み聞かせなどを自主的に活動しているグループに館内外活動の支援として本の貸し出しを実施した。 マイクロフィルムリーダーの更新、図書館車の寄贈（公益社団法人シャンティ国際ボランティア会）を受け、施設整備の充実を図った。			実 績 値	図書館の利用者数	17,908人			
					市民への図書貸出冊数	67,702冊			
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳
						国	県	支	出
						金			
						地	方	債	
						そ	の	他	
						一	般	財	源
	25,581,000		25,328,679			0		0	31,146
									25,297,533

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費				
事業名					博物館費	単位：円			
事業内容	特別展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信し、交流人口の拡大を図る。特別展「遠野物語と妖怪」、企画展「本田健展」、特別展「遠野のひな人形」を開催する。 学校教育に対応した「博物館教室」を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。 市民向けに講座を開催し、文化に親しむ機会を提供する。 博物館資料の充実に努め、資料の収集、整理、保存に努める。			計 画 値	博物館入館者数	42,500人			
					博物館講座等の受講者数	920人			
成果	夏季特別展「遠野物語と妖怪」や企画展「本田健展 - 山あるき、遠野 - 」遠野町家のひなまつり開催に合わせた特別展「遠野のひな人形 - ひなまつりの美 - 」を開く。商工会と連携し、中心市街地への集客に努めた。児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。 1 特別展「遠野物語と妖怪」入館者数 8,492人 会期 平成27年7月24日～9月23日 2 企画展「本田健展 - 山あるき、遠野 - 」入館者数 2,718人 会期 平成27年10月9日～11月23日 3 特別展「遠野のひな人形 - ひなまつりの美 - 」入館者数 1,759人 会期 平成28年2月12日～3月13日			実 績 値	博物館入館者数	21,051人			
					博物館講座等の受講者数	1,159人			
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳
						国	県	支	出
						金			
						地	方	債	
						そ	の	他	
						一	般	財	源
	12,878,000		12,192,759			0		0	6,743,236
									5,449,523

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名					ブックスタート事業費	単位：円														
事業内容	遠野市に生まれた赤ちゃんが、親とふれあいの時間の中で本を通じて、赤ちゃんに愛情に満ちた「ことば」を語りかけることで、互いに幸せを感じ、赤ちゃんの健やかな成長を願う。 生まれた時から、本とふれあうことにより本に興味を持ってもらう。 ・絵本とバックの配布 ・絵本の紹介 ・「ボランティアグループわらべ」による絵本の読み聞かせ ・遠野市立図書館の利用案内			計画値	読み聞かせ回数	12回														
					対象者	190組														
成果	健康福祉の里において、1歳児健康相談時に配布実施した。 参加できなかった対象者へは、後日、民生児童委員を通じての配布を実施した。 対象者 162組 ・1歳児健康相談時に配布 126組 ・民生児童委員による配布 36組 ・対象者に対する配布率 100%			実績値	読み聞かせ回数	12回														
					対象者	162組														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		400,000		399,927		0		0		337,000						62,927				

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名					博物館資料整理事業費	単位：円														
事業内容	旧綾織小学校体育館を収蔵庫として整備し、今後も増加する資料の適切な管理ができる環境を整えることにより、遠野の宝を次世代に継承する。 収蔵庫に中量棚を設置し、千葉家民具資料等の移設を行う。			計画値	収蔵庫中量棚の設置	50台														
					千葉家民具資料等の移設・保管	1176点														
成果	旧綾織小学校体育館を収蔵庫として活用するための周辺環境の整備と資料保管用の棚50台を購入し、改修工事が実施される曲り家千葉家の民具すべてを移設し、適切に収蔵管理する環境を整えることが出来た。			実績値	収蔵庫中量棚の設置	50台														
					千葉家民具資料等の移設・保管	1176点														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		2,745,000		2,613,290		0		0		0						2,613,290				

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化財調査保護費	単位：円
事業内容	文化や歴史を物語る貴重な文化財の調査・保護、啓蒙により、文化都市としての資質を高め、文化の向上と郷土愛の醸成に資する。 (1) 指定文化財及び一般文化財の調査、保護啓発の実施。 (2) 民俗芸能の保存育成支援。			計 画 値	民俗芸能の映像記録件数 平成27年度 23件（累計）	
	成果	市指定文化財早池峯神社拝殿修理に対して 5,278,000円を補助。国登録有形文化財「川前別家」「こびるの家」2棟のキクイムシ駆除を実施して文化財の保護を図るとともに、「鞍迫観音」「重文旧菊池家」の文化財説明板2基を更新して周知に努めた。 また、郷土芸能の保存育成を目的として、「駒木しし踊り」「穀町南部ばやし」「塚沢早池峰神楽」「湧水神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助した。活動支援を目的として「郷土芸能共演会」「神楽共演会」に支援を行った。			実 績 値	文化財保護審議会 2回 文化財修理補助 2件 郷土芸能備品補助 4件 活動支援補助 2件 文化財説明板設置件数累計 90基 民俗芸能映像記録件数累計 23件
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
8,709,000	8,151,290	299,000	0	208,354	7,643,936	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	緊急開発に伴う発掘調査、分布調査、試掘調査、調査整理作業、調査報告書作成により埋蔵文化財の保護及び記録保存を図るとともに、各種開発事業の円滑な実施調整に努め、企画展示及び体験教室等を開催し埋蔵文化財の活用を図り文化の向上に資する。			計 画 値	発掘調査等 1式 文化財教室 2回	
	成果	各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した場合、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。また、市指定史跡「金取遺跡」に関連し火山灰分析を行ってデータの収集を行った。 公開活用を視野に市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進すると共に、県が管理している市内出土遺物の譲与手続を行い、5遺跡コンテナ269箱分の遺物譲与を受けた。「高瀬 遺跡」「高瀬 遺跡」の企画展を開催し調査成果を公開した。 文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。			実 績 値	遺跡照会回答 122件 試掘調査 7件 データベース入力 4遺跡分814件完了 企画展開催 2回 埋文教室開催 3回 (参加者75人)
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
10,055,000	9,895,693	2,471,542	0	30,794	7,393,357	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	<p>市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、遺産の保護活用活動を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。</p> <p>活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。</p>			計 画 値	<p>認定件数 3 件 ガイドブック作成 3,000部 遠野遺産標示板設置 4 基 遠野遺産認定旗 11枚</p>	
	成果	<p>新規の遺産 2 件（伊勢両宮神社と松尾神社、牛頭天王の石碑）と追加 1 件（藤沢の滝と應瀧神社）を認定し、累計数が 143件となった。</p> <p>遠野遺産表示板等の設置、郷土芸能用の竿頭綬作成、ガイドブック作成、広報遠野を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。</p> <p>また、みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等（青笹しし踊り、熊野神社・六角牛大権現、能傳坊神社、八坂神社、欠ノ上稲荷神社、土淵和野の愛宕様、綾織三社神社、綾織駒形神社）が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p> <p>認定団体を対象に遠野遺産に関するアンケート調査を実施し、今後の制度運用に関する情報収集を行なった。</p>			実 績 値	<p>認定件数 3 件 ガイドブック作成 3,000部 遠野遺産標示板設置 4 基 遠野遺産認定旗 11枚</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
2,181,000	1,904,114	0	0	1,700,000	204,114	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費	単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅の保存活用に係る基本方針を定めるため、重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を開催し助言指導を受けながら、重文千葉家の活用を考える会とともに保存活用基本構想を策定する。 保存修理のため調査及び実施設計を行い第1期保存修理工事に着手する。また、修理に合わせて、防災施設を適切に整備するため、3カ年で調査を行い防災設備計画を策定するための1カ年度目の調査を実施する。</p>			計画値	<p>保存活用委員会 3回 保存活用基本構想策定 保存修理工事実施設計 防災設備整備調査 保存修理工事（共通仮設工事及びハセ小屋解体）</p>	
	成果	<p>1 保存活用基本構想の策定 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を4回開催し基本構想案を検討した。また、市民組織である重文千葉家の活用を考える会と学習会や意見交換会を行ったほか、千葉家まつりを開催し、修理前に活用を実践した。こうした活動を反映させながら保存活用基本構想を策定した。</p> <p>2 保存修理工事 第1期保存修理工事のための調査及び実施設計を行った。修理工事に着手するために、1,000点を超える家財資料の搬出を行った。着工に向け、入札を実施したが不調となったため、平成28年度に繰り越して工事を実施する。</p> <p>3 防災施設整備調査 消火水槽及び配管の設置を計画するための詳細測量や、水量・水質調査などの各種調査を実施した。</p>			実績値	<p>保存活用委員会 4回 千葉家まつり開催 保存活用基本構想策定 保存修理実施設計 家財資料移転 防災施設整備調査</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
40,852,000	16,200,645	8,411,000	0	0	7,789,645	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化的景観保存事業費	単位：円
事業内容	<p>国重要文化的景観選定地区の土淵町山口にある茅葺きの水車小屋は、遠野の代表的な景観として観光ポスターなどに使われてきた。かつて集落の中に複数の水車があったが、現在残るのはこの一棟だけで、遅くとも明治時代までには現在地に建っており、地元で脱穀やワラ打ち等に用いられていた。その後、市が建物を取得し、観光用の観覧を目的に管理してきたが、近年屋根や柱、土台の傷みが激しくなり、根本的な修理を行う必要性が生じていた。今回適切に修理して機能を回復することで、「見せるだけ」から「見て使える」水車とし、文化的景観の構成要素としての魅力向上と、それを活用した地域活性化が期待できる。</p>			計画値	水車小屋保存修理 22.72㎡	
	成果	<p>水車小屋を解体修理し、基礎から根本的に修理を行うことができた。極力当初の部材を再利用しようと努めたが、外壁の大部分は新材に交換せざるを得なかった。内部は使用できるように、破損していた搦き臼を交換し、内壁を設置した。工事は市内業者によって伝統工法で行われ、屋根葺きも市内の材料と職人の手によって施工され、伝統的な技術の継承にも繋がった。また、別工事として重要文化的景観地区への案内サインを1基設置した。</p>			実績値	水車小屋保存修理 22.72㎡ 水路小水門の設置 2力所 階段の整備 6m 案内サインの設置 1基
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
18,658,000	18,639,720	9,243,000	7,400,000	1,300,000	696,720	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅は進入路が限られた特異な立地であるため、早急に防災用道路の整備を行う。法面処理の設計及び工事資材の調達に時間を要したことから、平成27年度に繰り越して工事を実施する。</p>			計画値	防災用道路工事 L=183.7m	
	成果	<p>重要文化財千葉家住宅の災害時の緊急車両の通行路及び避難路として防災用道路を整備することができ、文化財の保護機能及び来場者の安全性の確保に努めた。</p>			実績値	防災用道路工事 L=183.7m
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
24,853,000	24,851,688	15,122,000	0	0	9,729,688	

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	<p>多くの市民がスポーツを通して健康増進と豊かなライフスタイルを実現できる環境の整備・充実を図る。          児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップを図るなど競技力の向上に努める。</p>				計画	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,400人 スポーツ団体運営補助 3団体
	<p>第33回目となる「日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン」を8月23日に開催した。当日は、ホップ収穫祭と隣接会場となり、参加ランナーも気軽に足を運ぶなど市街地の活性化に寄与した。          スポーツの交流事業として中高生及びスポーツを関係者を対象とした交流会を開催した。陸上関係では、大学でもトップクラスの監督、選手を招き実技指導や実体験を交えての講演会を開催し、競技スポーツの向上に務めることができた。          また冬期間には、トップアスリートの育成に尽力している指導者を招いてのスポーツ講演会を開催し、多くの参加者らが競技スポーツの指導法について学んだ。          国民体育大会では、空手、スケートの2種目に3人が出場した。</p>				実績	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,417人 (市内438人、市外979人) スポーツ団体運営補助 3団体 スポーツ講演・実技指導会の開催 全3回 (講演・実技指導400人) スポーツ少年団全国大会出場 3単位団 国民体育大会出場 2種目 3人 岩手県民体育大会出場 17種目 236人 全国高校サッカー選手権大会出場に係る寄附金 3,000,000円
成果						
予	算	額	決	算	額	財
						源
						内
						訳
						国
						県
						支
						出
						金
						地
						方
						債
						そ
						の
						他
						一
						般
						財
						源
15,280,000	15,069,913	552,000	0	50,000	14,467,913	

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費		
事業名		岩手国体準備事業費				単位：円	
事業内容	<p>希望郷いわて国体の成功に向け、希望郷いわて国体遠野市実行委員会の運営事業費を負担する。</p> <p>希望郷いわて国体のリハーサル大会として、希望郷いわて国体でサッカー競技を開催する4市（盛岡市、花巻市、遠野市、滝沢市）で第51回全国社会人サッカー選手権大会を開催する。</p>			計 画 値	<p>希望郷いわて国体競技別リハーサル大会仮設設備設置業務</p> <p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会負担金 13,802,000円</p>		
	<p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会では、市からの負担金等を財源に、カウントダウンボード等啓発物品を製作して国体開催をPRするとともに、国体花いっぱい運動として競技会場や観光施設等の歓迎装飾を行い、機運の醸成を図った。</p> <p>また、会場設営、競技運営、おもてなし等を研修するため、紀の国わかやま国体を視察した。</p> <p>希望郷いわて国体のリハーサル大会として、第51回全国社会人サッカー選手権大会の1回戦4試合と2回戦2試合を開催し、競技会運営における課題を確認することができた。同大会では、賑わい創出の一環として、1回戦2試合と2回戦2試合でエスコートキッズを実施した。</p>				実 績 値	<p>希望郷いわて国体競技別リハーサル大会仮設設備設置業務</p> <p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会負担金 13,802,000円</p>	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
29,895,000	29,830,282	7,667,000	0	0	22,163,282		

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費		
事業名		岩手国体準備事業費（緑越明許費）				単位：円	
事業内容	<p>希望郷いわて国体及び希望郷いわて国体競技別リハーサル大会の際に設置する仮設設備のレイアウト等会場設計業務を委託する。</p> <p>なお、平成27年10月の希望郷いわて国体競技別リハーサル大会の開催結果を希望郷いわて国体本大会の実施設計に反映するため、委託期間を延長し、平成26年度から平成27年度に繰り越した。</p> <p>希望郷いわて国体開催を周知するため、PR看板を設置する。</p>			計 画 値	<p>希望郷いわて国体及び競技別リハーサル大会会場設計業務</p> <p>希望郷いわて国体PR看板設置工事</p>		
	<p>希望郷いわて国体競技別リハーサル大会の開催結果を踏まえて、希望郷いわて国体本大会の会場レイアウトや必要物品を設計した。</p> <p>遠野消防署前と遠野駅前に希望郷いわて国体PR看板を設置し、希望郷いわて国体開催の周知を図った。</p> <p>なお、遠野駅前に設置した看板は、東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～宮守間）開通式の際に岩手河川国道事務所で作成した看板を譲り受けて設置した。</p>				実 績 値	<p>希望郷いわて国体及び競技別リハーサル大会会場設計業務</p> <p>希望郷いわて国体PR看板設置工事</p>	
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
1,469,000	1,396,051	0	0	0	1,396,051		



10款	教育費	06項	保健体育費	02目	学校給食費		
事業名					学校給食事業費	単位：円	
事業内容	<p>市内小中学校の児童生徒に、学校給食を通し栄養バランスのとれた食事を提供し健康増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養成することを目標として学校給食を実施する。学校給食の実施にあたっては、遠野産の食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、衛生管理を徹底し、安全安心でおいしい給食の提供に努める。</p> <p>給食実施校数          小学校 12校（うち1校は特別支援学校）          中学校 4校（うち1校は特別支援学校）          給食供給人数：2,296人          年間給食実施回数：小中学校 168回</p>			計 画 値	年間供給食数	385,728食	
					米飯回数	129回	
成果	<p>給食には、遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を安全かつ確実に提供することができた。また、高度な衛生管理体制が構築されたことにより、多彩なメニューやアレルギー対応食等の提供が可能になった。学校給食の試食の機会をPTAや学校関係者だけでなく、一般の方にも提供し、試食後のアンケートをその後の学校給食献立に反映させることができた。</p>			実 績 値	年間供給食数	380,391食	
					米飯回数	129回	
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
207,737,000		207,185,919		0	0	102,728,201	104,457,718

10款	教育費	06項	保健体育費	03目	体育施設費		
事業名					岩手国体サッカー会場整備事業費	単位：円	
事業内容	<p>希望郷いわて国体サッカー競技少年男子の開催に向け、遠野運動公園内の競技会場及びその周辺施設と国体記念公園市民サッカー場を整備し、サッカーゴール等競技備品を購入する。</p>			計 画 値	遠野運動公園陸上競技場管理棟改修		
					遠野運動公園陸上競技場公認更新整備工事		
成果	<p>希望郷いわて国体サッカー競技少年男子の開催に向け、遠野運動公園内の競技会場と国体記念公園市民サッカー場の整備を進め、サッカーゴール等競技備品を購入した。遠野運動公園陸上競技場フェンス設置工事については冬季施工を避けるため、国体記念公園市民サッカー場B面散水設備整備工事は関係機関との協議に時間を要するため平成28年度に繰り越して施工する。</p>			実 績 値	遠野運動公園陸上競技場管理棟改修工事		
					遠野運動公園陸上競技場公認更新整備工事		
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳			
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
125,577,000		96,342,404		0	0	92,070,000	4,272,404